

北陸地整からの情報提供(今年度の担い手確保にかかる取組と課題について)

【今年度の取組】

- ・北陸地方整備局においては、新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施した上で、9つの事務所でインターンシップを実施している。
(希望のあった学校側より中止の連絡があり、1つの事務所で取り消しあり)
- ・野外業務説明会（一般職試験受験予定者（大卒程度を対象として））を実施。
- ・各事務所において、産・学・官の三者が協力し高校や高等専門学校と、現場見学会を実施している。
- ・建政部では、建設業出前講座を実施している。
- ・建築・理工学向けの業務説明会を実施
- ・Web 業務説明会を実施
- ・例年、8～9月頃、現場見学会と座学（仕事講座）、翌2月に就職お助け講座を、建設業協会青年部と地域振興局、高田河国が連携して実施している。
- ・実施後の生徒からのアンケートを確認すると、「参考になった」、「見学会に参加してイメージできた」、「実際に仕事をしている人達から説明を受けてわかりやすかった」といった好印象な意見を得ており、生徒達の「建設業への興味」も9月（現場見学会）から2月（就職お助け講座）にはポイントがアップしていることから、担い手確保・育成には有効な取り組みと考えている。

【課題】 ※新潟県内の事務所より意見聴取

- ・ 体験学習、イベント等での装置利用における新型コロナウイルス感染症対策
 1. 器具等の消毒
 - ・ 使用する器具、体験装置は、体験の都度消毒をする必要がある。
 - ・ 消毒作業に要する人員の確保をする必要がある。
 2. 三密を避ける運営
 - ・ 体験者の間隔を適切に確保する必要があることから、1回あたりの体験人数を減らす必要がある。
 3. 感染発生後の対応
 - ・ イベント等において感染が発生した場合に、装置の利用者を特定できない。

- ・ 次世代を担う子供たちに興味をもってもらうため、「現場見学会」への子育て世代の参加を増やしていくことも大切。
 - 毎年小学校の夏休みのタイミングで実施していた「北陸地方整備局見学デー」は、新型コロナウイルスに関連し小学校等の夏休みが短くなったこと及び新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策の両立が難しかったことなどから開催が出来なかった。

- ・ 担い手確保・育成のためには、事前に学校側と調整し実技も行える時間を確保し、実際に体験してもらい、より将来の就職先の参考となるようなものを取り入れることも必要と感じている（半日程度の現場見学では、土木の魅力を十分に伝えられない）。

- ・ 学校側からは、キャリア教育のため、「ものづくりの現場見学会」のニーズがあり、主催者側としても対象年齢に応じた内容となるよう工夫している。特に専門的な話は、身近な地域と関連づけることが興味を持たせるうえで重要と感じている。

- ・ 今年度は、新型コロナウイルスの影響で、例年実施できていたものが取り止めになったり、規模縮小について懸念されている。

現在、6月末時点で実施を予定していたものなどについて、未だ実施の見通しが立っていないものもある。

特に、現場見学会等については、実際の現場を生で見なければ仕事のスケール感が伝わらず、現場従事者の生の声も聞けないため、WEB見学会ではなかなか魅力が伝わらないと思われる。

今後も、本取り組みを継続していくため、学校の意向を確認しつつ、実施の可否を見極めていきたい。

【概要】

- ・開催日 : 令和元年7月31日(水)
9:30~15:30
- ・会場 : 北陸地方整備局内及び構内、
新潟地方気象台
- ・来場者 : 約600名(H30:約600名)
- ・主な対象者 : 夏休み中の親子

【目的】

- ・北陸地方整備局の業務内容を広く知ってもらおうと共に、市民の防災意識向上及び将来の担い手の確保を図る。
- 併せて、職員の家族に、職場への理解を深めてもらう。
- ・今年度より新潟地方気象台と連携し、気象の仕組みを学びつつ、防災への理解を深めてもらう。

【主な内容】

- ・整備局内施設見学(屋上鉄塔、災害対策室)
- ・新潟地方気象台施設見学
- ・各種体験
 - 降雨体験、地震体験、橋梁点検車及び除雪車乗車体験、
 - アクアプレイ、トゥルーパルス体験、衛星通信体験、
 - 鳴り砂・液状化体験、車椅子・積み木・木工体験、
 - 特殊車両展示、気象関係実験 他
- ・パネル展示、クイズラリー 他

【令和元年度 実施状況】



災害対策見学



整備局概要説明



アクアプレイ(河川部)



橋梁点検車乗車体験(道路部)



鳴り砂体験(港湾空港部)



積み木建物づくり(営繕部)



クイズラリー(企画部)



特殊車両展示

建設界が担う役割やその魅力について、保護者の理解を深めるため、令和元年10月19日に新潟県立新潟工業高校生徒の保護者を対象に、現場見学会、意見交換会を開催しました。

開催概要

令和元年10月19日（土）9:00～12:00

- 〔会場〕 阿賀野川河川事務所及び新潟国道事務所管内の現場及び新潟国道事務所2F会議室
- 〔出席者〕 新潟工業高校保護者4名、教師1名
- 〔行政〕 北陸地方整備局阿賀野川河川事務所 3名
- 〔建設業界〕 新潟県建設業協会、建設コンサルタツツ協会北陸支部、新潟県測量設計業協会 各1名

意見交換会の概要

- 建設会社、コンサル、測量、国家公務員で働くパネラーが、入社1、2年での仕事内容、苦労、学び等の経験を取り混ぜて自己紹介
- 保護者との質疑応答（就職先の選択・決定の際での親との係わり、就職前のイメージとの違い、理想の上司像とは、日頃大切にしている事など様々な質疑がなされた）

保護者からの感想

【現場見学会】

- 普段見ることができない施設を見学でき、良かった。
- 帰ったら、子供に伝えたい。
- 公共土木の大切さ、必要性が理解できた。
- GPSを使った重機が印象に残った。
- 人の手で作っているのではなく、機械で全て行っていることに驚いた。

【意見交換会】

- 各業界の若手職員の生の声を聞けてとても参考になった。
 - いろいろな方面・立場での意見が聞けてよかった。
- 【全体を通して】
- 土木はむしろ夢のある仕事なのでは、と思った。
 - このような会を今後も継続して行ってもらいたい。



アンケート結果（保護者4名）

- (1)建設界に関する理解が深まりましたか。
全員から、理解が深まったとの回答を頂きました。
- (2)お子様を建設界に入職させることについて
回答された3名全員から、不安が減ったとの回答を頂きました。

新発田南高校 生徒34名が羽越で学ぶ！

令和元年8月19日（月）に新発田南高校土木工学科2年生34名が「地域の課題解決」や「地域産業の理解」を目的に授業の一環として、同校卒業生が多く勤務している羽越河川国道事務所の職員と意見交換会を行いました。また、意見交換に先立ち、鷹ノ巣道路の工事現場で実際に使われている最新技術（ICT建設機械）を見学・体験をしました。



UAV
(ドローン)
飛行見学



意見
交換会



- ・ 仕事内容は？ 給料は？
- ・ 今後の進路の参考になった。

ICT
建設機械
(バックホウ)
体験



発行およびお問い合わせ先

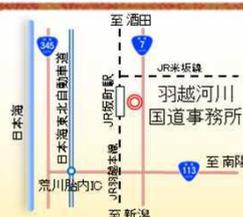


国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所

〒959-3196 新潟県村上市藤沢27-1
TEL:0254-62-3211(代表)
FAX:0254-62-1106(代表) URL⇒<http://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/>



担当 工務第二課





国土交通省 北陸地方整備局

北陸技術事務所

配布：新潟県政記者クラブ
 新潟政記者クラブ
 新潟県内専門紙
 扱い：配布後解禁

関川小学校4年生が豪雨を模擬体験！ 自然災害の体験学習

北陸技術事務所では、体験学習パーク「ほくぎひろば」を活用した体験型学習の場を用意し、体験をとおり、災害の怖さ、命の大切さなどを学んでいただく『防災啓発活動』に取り組んでいます。

この度、『防災啓発活動』の一環として、関川村立関川小学校4年生の皆さんが、降雨体験装置を用いた過去の豪雨の模擬体験等をされますので、ご案内いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、マスク着用及び消毒の徹底等を行い、実施します。

■日時 令和2年9月8日(火) 13:00~14:05
■会場 国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所
 新潟市西区山田2310番地5

■参加者 関川村立関川小学校 4年生 37名

■スケジュール

- 13:00 防災に関する講義開始予定
- 13:15 降雨体験装置を用いた模擬体験開始予定
- 14:05 学習終了予定



降雨体験の様子



■アクセス

- 報道機関のみならず、
 ・発熱などの症状がある方は、来場をお控えください。また、会場ではマスクを着用願います。
 ・防災体制等により中止する場合は、当日の朝10:00までに、北枝HPにて周知します。
 ・取材を希望される方は、前日17時まで以下お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所
 副所長 山口 成昭 (やまぐち なりあき) (内線204)
 新潟市西区山田2310-5 電話025-231-1281(代表)

令和2年9月8日 小学生が防災学習(降雨体験)をしました



児童が豪雨を模擬体験

報道機関：NHK新潟放送局
 報道日：令和2年9月8日(火)18:20

(アナウンサー)

全国各地で豪雨による災害が相次ぐ中、新潟市にある国土交通省の北陸技術事務所で行われた豪雨の模擬体験には、関川村の小学4年生の児童35人が参加しました。



(アナウンサー)

はじめに児童らは、豪雨では短時間で河川があふれる危険があることや、日頃から避難所までの安全な経路を確認し、明るいうちに早めに避難することなどを担当者から説明を受け、次にコンピュータ型の体験設備の中で、豪雨を模擬体験しました。

設定された雨は、9年前に十日町市で記録した1時間あたりおおよそ120ミリの猛烈な雨や、おおよそ40年前に長崎県で記録した日本一の降水量に近い1時間あたり180ミリの雨などで、



(アナウンサー)

児童のひとりには、

(児童)

「雨がすごく強かったです。傘がすごく重くなってきて怖くなりました」
 (アナウンサー)
 と話していました。



(アナウンサー)

北陸技術事務所の山口副所長は、「これから台風シーズンになるので、今後の避難行動につなげてほしいです」と話していました。

令和2年9月10日現在
北陸技術事務所

降雨体験装置を用いた防災啓発活動(関川小学校) マスコミ報道状況

<TV 7件>

放送日	報道機関	番組名	放送時間
令和2年9月8日(火)	NHK新潟放送局	新潟ニュース610	2分
令和2年9月8日(火)	NHK新潟放送局	ニュース845	2分
令和2年9月8日(火)	TeNY	夕方ワイド 新潟一番	2分
令和2年9月8日(火)	UX	スーパーJにいがた	2分
令和2年9月8日(火)	BSN	BSNニュース ゆうなび	2分
令和2年9月8日(火)	NST	Newsタッチ	2分
令和2年9月9日(水)	NHK(全国)	NHKニュースおはよう日本	1分

<新聞 2件>

掲載日	報道機関
令和2年9月9日(水)	毎日新聞
令和2年9月10日(木)	新潟日報

<ネットニュース 13件>

掲載日	報道機関
令和2年9月8日(火)	NHK 新潟 NEWS WEB
令和2年9月8日(火)	NST 新潟県内ニュース
令和2年9月8日(火)	TeNY ニュース
令和2年9月8日(火)	にいがた経済新聞
令和2年9月8日(火)	YAHOO! ニュース NST
令和2年9月9日(水)	NHK NEWS WEB
令和2年9月9日(水)	日テレNEWS24
令和2年9月9日(水)	FNNプライムオンライン
令和2年9月9日(水)	YAHOO! ニュース TeNY
令和2年9月9日(水)	YAHOO! ニュース 毎日新聞
令和2年9月9日(水)	YouTube にいがた経済新聞
令和2年9月9日(水)	新潟日報モア
令和2年9月9日(水)	毎日新聞

